【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年3月22日(2007.3.22)

【公開番号】特開2001-154957(P2001-154957A)
【公開日】平成13年6月8日(2001.6.8)
【出願番号】特願平11-335315
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
Ｈ０４Ｌ　29/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　３５４Ａ
Ｈ０４Ｌ　13/00　　３０５Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成19年1月31日(2007.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
第１の通信設定データを記憶する第１通信設定データ記憶手段と前記第１通信設定データ記憶手段に記憶された第１の通信設定データに基づいて通信を行う通信手段とを備えた情報処理装置と、第２の通信設定データを記憶する第２通信設定データ記憶手段と前記情報処理装置に接続可能な接続手段とを備えた外部ユニットを有してなる情報処理システムであって、
前記情報処理装置は、
前記外部ユニットと接続可能な外部ユニット接続手段と、
前記外部ユニット接続手段と外部ユニットとの接続状態を検出する接続検出手段と、
前記接続検出手段によって外部ユニットが接続されていることが検出された場合に、当該外部ユニット内の第２通信設定データ記憶手段に、第２の通信設定データが記憶されているか判別する判別手段と、
前記判別手段により第２の通信設定データが存在すると判別されたとき、前記通信手段が前記第２の通信設定データに基づいて通信を行うよう制御する制御手段と、を備えたことを特徴とする情報処理システム。
【請求項２】
前記情報処理装置は更に、第１の送受信データを記憶する第１送受信データ記憶手段を備え、
前記外部ユニットは更に、第２の送受信データを記憶する第２送受信データ記憶手段を備え、前記制御手段は、前記判別手段が前記外部ユニットに第２の通信設定データが存在すると判別したとき、前記通信手段が前記第２の通信設定データに基づき前記第２送受信データ記憶手段を送受信データの記憶部として用いて通信を行うよう制御し、前記判別手段が前記外部ユニットに第２の通信設定データが存在しないと判別したとき、前記通信手段が前記第１の通信設定データに基づき前記第１送受信データ記憶手段を送受信データの記憶部として用いて通信を行うよう制御することを特徴とする、請求項１記載の情報処理システム。
【請求項３】
前記外部ユニットは更に、キー入力を行うキー入力手段を備え、前記制御手段は、前記

キー入力手段から入力されたキーデータに基づく制御を行うことを特徴とする請求項１または請求項２記載の情報処理システム。

【請求項４】

前記制御手段は、前記外部ユニットに備えられたキー入力手段からのキーデータに基づき、前記第１通信設定データ記憶手段、第１送受信データ記憶手段、第２通信設定データ記憶手段、第２送受信データ記憶手段の記憶内容を更新するよう制御することを特徴とする請求項３記載の情報処理システム。

【請求項５】

通信設定データを記憶する通信設定データ記憶手段と、

前記通信設定データ記憶手段に記憶された通信設定データに基づいて通信を行う通信手段と、

前記外部ユニットと接続可能な外部ユニット接続手段とを含む情報処理装置であって、

前記外部ユニット接続手段と外部ユニットとの接続状態を検出する接続検出手段と、

前記接続検出手段によって外部ユニットが接続されていることが検出された場合に、当該外部ユニット内の通信設定データが記憶されているか判別する判別手段と、

前記判別手段により、前記外部ユニットに通信設定データが存在すると判別されたとき、前記通信手段が前記外部ユニット内に記憶されている前記通信設定データに基づいて通信を行うよう制御する制御手段と、

をさらに備えたことを特徴とする情報処理装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

本発明は上記問題点を解決するためになされたもので、その目的とするところは、通信手段を備えた情報処理装置に、当該情報処理装置を使用する各個人の通信設定データあるいは送受信データを記憶した外部ユニットを接続可能とし、その外部ユニットに記憶された通信設定データあるいは送受信データを用いて通信を行う情報処理システム及び情報処理装置を提供することである。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

【課題を解決するための手段】

本発明の第１の局面に係る情報処理システムは、第１の通信設定データを記憶する第１通信設定データ記憶手段と前記第１通信設定データ記憶手段に記憶された第１の通信設定データに基づいて通信を行う通信手段とを備えた情報処理装置と、第２の通信設定データを記憶する第２通信設定データ記憶手段と前記情報処理装置に接続可能な接続手段とを備えた外部ユニットを有してなる情報処理システムであって、前記情報処理装置は、前記外部ユニットと接続可能な外部ユニット接続手段と、前記外部ユニット接続手段と外部ユニットとの接続状態を検出する接続検出手段と、前記接続検出手段によって外部ユニットが接続されていることが検出された場合に、当該外部ユニット内の第２通信設定データ記憶手段に、第２の通信設定データが記憶されているか判別する判別手段と、前記判別手段により第２の通信設定データが存在すると判別されたとき、前記通信手段が前記第２の通信設定データに基づいて通信を行うよう制御する制御手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
また、前記情報処理装置は更に、第１の送受信データを記憶する第１送受信データ記憶手段を備え、前記外部ユニットは更に、第２の送受信データを記憶する第２送受信データ記憶手段を備え、前記制御手段は、前記判別手段が前記外部ユニットに第２の通信設定データが存在すると判別したとき、前記通信手段が前記第２の通信設定データに基づき前記第２送受信データ記憶手段を送受信データの記憶部として用いて通信を行うよう制御し、前記判別手段が前記外部ユニットに第２の通信設定データが存在しないと判別したとき、前記通信手段が前記第１の通信設定データに基づき前記第１送受信データ記憶手段を送受信データの記憶部として用いて通信を行うよう制御することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
あるいは、前記制御手段は、前記外部ユニットに備えられたキー入力手段からのキーデータに基づき、前記第１通信設定データ記憶手段、第１送受信データ記憶手段、第２通信設定データ記憶手段、第２送受信データ記憶手段の記憶内容を更新するよう制御することを特徴とする。
本発明の第２の局面に係る情報処理装置は、通信設定データを記憶する通信設定データ記憶手段と、前記通信設定データ記憶手段に記憶された通信設定データに基づいて通信を行う通信手段と、前記外部ユニットと接続可能な外部ユニット接続手段とを含む情報処理装置であって、前記外部ユニット接続手段と外部ユニットとの接続状態を検出する接続検出手段と、前記接続検出手段によって外部ユニットが接続されていることが検出された場合に、当該外部ユニット内の通信設定データが記憶されているか判別する判別手段と、前記判別手段により、前記外部ユニットに通信設定データが存在すると判別されたとき、前記通信手段が前記外部ユニット内に記憶されている前記通信設定データに基づいて通信を行うよう制御する制御手段と、をさらに備えたことを特徴とする。